第3回　奨学生(オンライン)交流会　　感想

21年8月21日(土)

大学	学年	性別	卒業生および奨学生の声
東北大学	卒業	女性	知っている後輩たちを見て懐かしい気持ちになったり、1･2年生の新しい顔ぶれを見て後輩が増えて嬉しい気持ちになったりしました。 奨学生の方も近況報告のときに言っていましたが、奨学金制度を通して仲間と出会えたこともとてもありがたく、幸せなことだなと改めて思いました。今日は、後輩の皆さんにお話する立場でしたが、後輩の近況報告などを聞いて、私自身もとても刺激をもらいました。ありがとうございました。三浦財団の皆様との御縁はこれからもずっと大切にしていきたいです。
弘前大学 医学部	4年	女性	今回は後輩が多く、しかもどの奨学生も話す内容がすごく論理的でみんなすごいなぁ～と感激しました！刺激受けまくりの１日でした。 ブレイクアウトルームに分かれてお話した時間が、特に良かったです。対面だと、１対１でお話しすることが多いですが、オンラインだと大人数いたので自分が思いもよらない話の方向に行って面白かったです。わたしの班はKさんのギター演奏会やSさんのバイオリン演奏会をしてすごくいい午後の時間を過ごせました。
東京大学 理学部	3年	男性	最近就職した先輩のお話を聞く機会というのは自分にはなかなかありませんでしたので、先輩方のお話はとても興味深く聞かせていただきました。特に母校の後輩などを見つけたときは、直接話したことがなくても親近感が湧きました。このときばかりは、対面で自由に話しかけにいけないのがもどかしく感じました。 他の大学の方々と話す機会がとにかく新鮮で、趣味の話から、それぞれが今住んでいるところ、通っている大学の話などいろいろな話題が上がりました。コロナ禍で人と話す機会が減っているというのもあって、楽しく参加させていただきました。
弘前大学 医学部 保健	3年	女性	(コロナ禍で日常生活に大きな影響を受けた奨学生の話から)「感情をぶつけても状況は変わらない。怒る前にやるべきことがあるはず。感情とやるべきことは違う」同学年のこの方の発言に、私は普段何かと自分にとってマイナスな状況になった際に、不満を口にしていたことが恥ずかしくなりました。また自分の専門分野以外にも幅広い視野で物事を捉えている姿を目の当たりにもし、私もそうなりたい！！と強く思いました。
東京大学 教養学部	2年	男性	私は現在、今後の専門分野の決定に悩んでいることもあり、先輩方の講話やK.Tさんにお答えいただいた質問は非常に参考になりました。現在、交流会でお聞きしたことを参考に進路について改めて考えているところです。また、他の参加者の方の質問やフリートーキングでは、私一人では得難い視点からの疑問や考え方、時間の使い方などのお話を聞くことができました。 自身と似たような環境にある同年代の方と意見を交わす貴重でとても楽しい機会になったと感じています。 コロナ禍において人と出会う機会が激減している中、他者の考え方に触れて視野を広げることの大切さを再認識できました。

東北大学 法学部	1年	男性	今回のオンライン交流会は、非常に学ぶことが多かったです。 特に、就職活動を経験した卒業生の方の話や、違う専門分野の方と話すフリートークでは新しい発見がたくさんありました。今後も続けて欲しいです。貴重な体験をありがとうございました。

<事務局より>
昨年はコロナ禍のため、奨学生交流会は開催を断念しました。今年はコロナの衰えは見えませんが、奨学生の皆さんからの開催希望の声が大きく、検討致しました結果、オンライン方式での開催とすることとしました。
結果として奨学生31名、役員13名の参加で大きなトラブルもなく、タイムスケジュールに添って終了することができた次第です。終了後、多数の感想が寄せられました。次回以降の参考と致します。また参加者の生の声をいくつかお届けしました。今回の心残りは、奨学生の皆さんが一堂に会して、楽しみだったホテルでのランチをご一緒でできなかったことです。来年こそ、コロナ禍も終息し、対面方式での交流会が開催できることを望んでやみません。